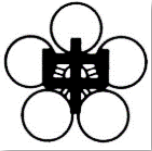


<校訓>白梅の においゆたかに 明るく強く 毎日必ず 一歩前進



輝く未来へ

教育目標「自ら学び 創造する生徒」「豊かな心で 思いやりのある生徒」「ねばり強く 健康な生徒」

板橋区立加賀中学校
学校だより
令和2年度 第16号
令和2年 12月 10日
校長 水谷 智子

人権について考えよう

12月4日から10日は人権週間、10日は「世界人権デー」です。7日の全校朝礼では、人権についての話をしました。今年は特に「新型コロナ」に関する人権侵害が問題になっています。本校では、7月にも、全校道徳の授業で学習しました。メディアでも取り上げられていますが、公共交通機関内でマスクを着けていない人に対する暴力や暴言、都会から地方に帰省した方がいる家庭にまかれた誹謗中傷、医療従事者の家族に対する偏見や差別など、多くの事例が伝えられています。

このような人権侵害は、「よくわからないものに対する「不安や恐れ」」から生じるものです。新型コロナに限らず、ハンセン病や HIV といった病気や心身に障害を持った人、LGBT など性的マイノリティの人、人種の違う人や外国籍の人など、「自分とは違う」「よくわからない」人に対して、私たち人間は不安や恐れのもち、「排除しよう」とする心理が働き、差別的な言動をとってしまうのです。中には、SNS 上などで同調する人が増えて、さらに先鋭的・攻撃的な差別につながっていくケースもあります。その結果、自分らしく生きられずに辛い思いをする人が出てきています。

人は生まれながらにして、誰もが「自分らしく生きる権利」をもっています。それは何人も侵すことはできません。皆が自分らしく生き生きと暮らせる社会を創るためには、どうすれば良いでしょうか。

まずは、「正しく知る」ことです。新型コロナ感染症の場合には、飛沫感染や接触感染が主な感染経路と言われています。無症状の人が触ったものに触れても、それによって感染することはありません。無知無関心が、様々な人権侵害の根底にあります。様々な人権課題について正しく理解することが、人権尊重の第一歩です。先入観を持たず、虚心坦懐に相手のことを知ろうとする姿勢を持ちたいものです。

次に、「冷静に考える」ことです。周りの風潮に振り回されて安易に同調したり、自分勝手な思い込みで誤った判断をしたりせず、科学的な根拠（エビデンス）に基づいて、理性的に判断できるようにしましょう。日頃の学習で身につけた「論理的に考える力」をこのような場面で発揮するのです。根拠に基づいて、冷静に考えられるようになりましょう。

そして、「温かい思いやりの気持ちをもって行動する」ことです。今、新型コロナ感染症は、「感染経路不明」の割合が増えています。「いつ、どこで、自分が感染するか」は誰にもわからず、誰でも当事者になる可能性があります。そうなった時の自分の姿や、医療従事者の方々のご苦勞を想像することができれば、自分のとるべき行動が見えてくるはずで、互いの違いや多様性を認め、それを尊重する態度、寛容な心をもつようにしましょう。いろいろな本を読んで登場人物の気持ちを考えたり、いろいろな立場に立って友達と議論したり、様々な活動での人との関わりやふれあいを通して、豊かな心、思いやりの気持ちを育みましょう。

皆さん一人一人は、かけがえのない大切な存在です。それぞれの個性や特性を発揮して、誰もが自分らしく生きていけるように、人権を尊重する社会を創りましょう。

7日に体罰アンケートを行いました。これは、学校における体罰を根絶するために、毎年行っているものです。ご家庭でもお子様と「暴力や暴言など、相手に苦痛を与えることはしない、させない」ということについて話し合っただき、何か気になることがあれば、お知らせ下さい。

○「読み解く力」とRST(リーディングスキルテスト)

先日、RSTの結果を配布しました。このテストは、板橋区立の全小中学校で実施しており、6つに分類された「基礎的読解力」をはかるものです。

板橋区では、生涯にわたって学び続ける力を高めるため、義務教育9年間を通して、子どもたちに「読み解く力」を育成することに取り組んでいます。板橋区の考える「読み解く力」とは、文章や図表などの情報を読み取り【認識(INPUT)】、それをもとにして考え【思考(THINK)】、その考えを相手に伝える【表現(OUTPUT)】力です。そのような「読み解く力」を支える基礎的な技能(スキル)が、「基礎的読解力=リーディングスキル」です。「基礎的読解力」とは、文章や図や表、グラフなど様々な情報をテキストから正確に読み取るために必要な基礎的な力で、6つの分類は次の通りです。

- 係り受け解析…主語と述語、修飾語と被修飾語など、文節どうしの関係性を理解する
- 照応解決…指示代名詞が示すものや省略された名詞句がわかる
- 同義文判定…能動態と受動態など、別の言い方をした2文の意味が同一かどうかわかる
- 推論…文の構造を理解した上で、既習事項や常識等を動員して文の意味を理解する
- イメージ同定…文章と図やグラフを比べて、内容が一致しているかどうかを認識する
- 具体例同定…定義を読んで、それと合致する具体例を認識する

本校では、「読み解く力」を育成するため、授業内で教科書や資料の文章や図表などを読み取らせ、自分の考えを文章にまとめて書いたり話したりして、相手に伝える学習に取り組んでいます。特に、新聞作りやスピーチなどの表現活動を重視し、そのような機会を多く設けています。今後は、各自に配備されるタブレット端末も活用し、「主体的に学ぶ」生徒の育成に向け、授業革新に取り組んで参ります。

○英検応援講座

本校の学校支援地域本部では年5~6回「英検応援講座」を開講しています。今回、入学以来、毎回この講座に参加していた9年(中3生)のYさんが英検2級に合格しました。皆さんもこの講座を活用し、英検合格にチャレンジしてください。次回は12月17日(木)「英作文完全攻略編」です。

… 合格体験記 …

中学1年生の時に英検応援講座を受け、英検に興味をもちました。それが英検にチャレンジするきっかけになったと思います。合格のために、英検応援講座でいただいたプリントを復習し、毎日英語の文を声に出して音読するように心がけました。音読することでアクセントの付け方や文の区切りの違いに気がつくことができました。

英検に向けての勉強では、過去の英検の問題を中心にしっかりと時間を計り、本番と同じように解くようにしていました。

英検応援講座を受講して、英作文の書き方や面接の仕方を学びました。本番に気をつけないといけないところなど、細部まで詳しく教えていただきました。おかげで2級では英作文で満点を取ることができました。「英検にはそれぞれに決まった型があり、それに当てはめることが合格につながる鍵だ」という三宅先生の言葉が合格につながったと感じます。 Y.A.

… 三宅先生より …

近年、社会では英語の4技能(読む・聞く・書く・話す)を積極的に使える人材が求められるようになってきました。それに伴い、民間の英語外部検定試験(英検・TOEFL・IELTS・GTEC等)を入試に活用する高校・大学が急増しています。この入試制度では、検定試験のスコアが基準を満たしていれば、英語試験が免除されたり得点に加点されたりして、受験生には大きなメリットがあります。

加賀中の英検応援講座では限られた時間内で4技能別のアドバイスを中心に授業を進めています。皆さんも目標級合格の為に、是非英検応援講座をご利用下さい。

お知らせとお願い

◎12月19日の土曜授業プランは、新型コロナウイルス感染症の感染拡大傾向のため、**保護者への公開を原則中止**にします。ただし、9年(中3生)女子体育の授業につきましては、校庭にて創作ダンス発表会を行いますので、当該保護者のみ参観可とします。詳しくは学年だよりにてご確認ください。

◎令和2年度保護者アンケート用紙を明日配布します。今年度の教育活動を振り返り、来年度の教育課程編成を考えるための資料にいたしますので、**21日(月)まで**にご提出ください。わかる項目だけで結構ですので、ご協力よろしくお願い致します。

三者面談へのご協力、ありがとうございました。二学期も残り半月になりました。健康に留意して学期末を迎えましょう。

